

ojb ひるば 46th



第46年度第1号
大垣青年重役会
平成23年8月25日発行
<http://www.ojb.jp>

O g a k i J u n i o r B o a r d



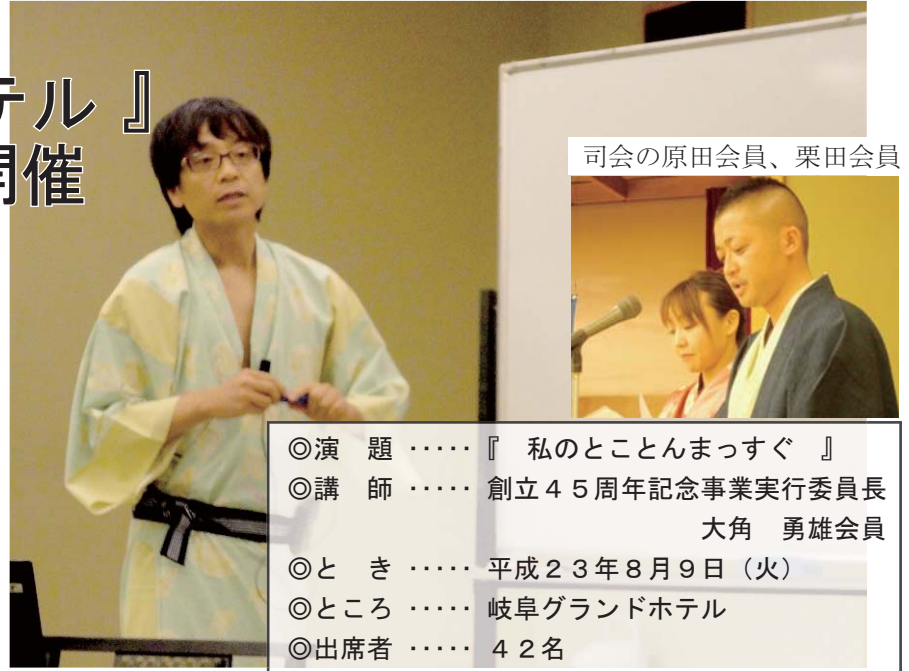
第45年度スローガン とことんまっすぐ

～第45年度 8月最終ゆかた例会～

『岐阜 グランドホテル』にて、ゆかた例会開催



最後の会長挨拶をする平野会長



司会の原田会員、栗田会員

- ◎演 題 …… 『 私のとことんまっすぐ 』
- ◎講 師 …… 創立45周年記念事業実行委員長
大角 勇雄会員
- ◎と き …… 平成23年8月9日 (火)
- ◎と ころ …… 岐阜グランドホテル
- ◎出席者 …… 42名

複写ハガキ、facebook、Twitter や Skype で例会を進める大角実行委員長

最終ゆかた例会感想文

第45年度ゆかた例会

大橋 誠治

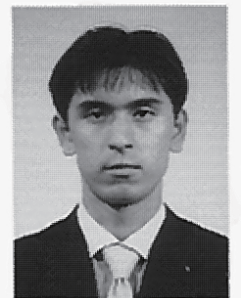
本年度のゆかた例会の新しい試みに感動させて頂きました。特にご尽力された平野会長はじめ大角歴代会長、栗田会員、原田会員、各役員の皆様、大変有難うございました。中でも私自身、長良川の鵜飼は恥ずかしながら初めての体験でした。ご一緒させていただいた会員の皆様の嬉しい表情、楽しい表情、興味深い表情など、今でも思い浮かびます。未来への提言の中の行動目標4(会員交流)から抜粋させようと「人と人とのコミュニケーションを大切に作る会」「自由につながり合える心のサロン」という文言にまさに合致していたのではないかと考えます。共通の思い出は、人と人とを結び付けるかけがえないものかと存じます。これからも益々、新しい思い出作り、あるいは企画を考えながら、会員としてあるべきスタンスを大事にし、諸先輩方をはじめ会員皆様よりご指導、ご鞭撻を賜りながらOJB会員ライフを過ごさせて戴きたく存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。有難うございました。



第45年度最終例会

鳥居 清

複写はがき…とても懐かしい響である。第40年度大角会長の下で色々研修させていただいた頃にその存在を知り、度々いただいたはがきの青い文字を思い出す。小倉理恵さん…今回の講演ツール(FACEBOOK)に投稿されたOJBでは記念式典の司会でお馴染の魅力的なフリーアナウンサー。第36年度でも大変お世話になった方である。こうして長い間良縁を保たれているのも『はがき道』をとことんまっすぐに進まれ、心の琴線に触れるきっかけを基にデジタルも上手く活用されてお付き合いを続けられているからであろうと感じ、ご縁の活かし方を教えていただきました。趣向を変えた鵜飼船総絡みでは、伝統の手法を目の当たりにする事が出来、あらためて『魅せる』事の大切さを知らされました。アナログから得られた気づき…まさに温故知新。今年度の締め括りに相応しいとことんまっすぐな姿勢のカッコよさを見せていただき有難うございました!



第45年度
ゆかた例会
懇親会

第46年度への引継式



会長から、新会長へのエール



会旗もしっかりと、45年度から46年度へと受け継がれました。



良い笑顔です。新会長スピーチ

第45年度
ゆかた例会
懇親会

第一部～スナップ～



藤井歴代の乾杯のご発声にて懇親会が盛大に始まりました。



渡部歴代の締めにて

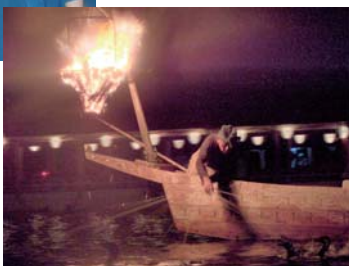


第45年度
ゆかた例会
懇親会

第二部鵜飼船総絡み



かんぱーい！



第45年度
会員親睦
委員会

最終ゆかた例会二次会

- ◎と き：同日 21:30～23:30
- ◎と ころ：ラウンジ 紫苑
- ◎参加人数：29名



新会長に恒例のエールを！！⇒



羽田直前会長の乾杯でスタート



第45年度

第45年度を
振り返って

第45年度役員の皆様よりお言葉をいただきました。

第45年度会長 平野 宏司

高 山市乗鞍山麓五色ヶ原には長良川の源泉のひとつがあり、トレッキングの合間に滾々と湧き出る水が喉を潤す。約4時間の山歩きにはインタープリターが必ず同行、ベテランの語りは草花の説明に留まらず、水、即ち命の源への感謝と畏敬を感じさせる特別な体験に静かに寄り添う。

OJBの発足を泉に例えると、流れは今どのあたりか？これからも急流あるいは激みに戸惑うかも知れない。しかし我々会員には皆で流れを大海に継いでいく使命がある。そのためには、自らの職業や地域に清き水が絶えず流れ入るよう研鑽と実践に努めるべきである。

45年度のテーマは、説田和夫初代会長はじめ諸先輩方の思いと行動力を、現在に同期することだったが、それをさらに未来に引き継ぐ中で、創立45周年記念講演会、記念式典、記念研修旅行、記念誌に携わった各委員、そして45年度を盛りたてた各役員・会員の功績は計り知れない。

あらためて皆様にお礼申し上げますとともに、OJBの前途に幸多かれと願います。

第45年度直前会長 羽田 義慎人

今 の気持ち
5年間の役員・執行部生活もこの45年度直前会長で終わってしまいます。

安堵したようなさみしいような複雑な気持ち。私としてはそれぞれの立場のある方からお声をかけて頂き「私を必要としてくれているのだ」と自分で言い聞かせて会旗を君主と仰ぎがんばってきたつもりです。PTA会長と他会の副会長が同時に重なった時期もありましたが何とかなるものですね。今振り返ると、むしろその時のほうがアンテナが良く働き勤が冴えていた気がします。嘘だと思うのでしたら試してみてください。相談に乗ります。なにはともあれこんな私にいろいろなそして重要な仕事を与えて下さりましてありがとうございました。

第45年度副会長 松本 正平

第 45年度をとことんまっすぐ振り返って
平野会長らしく、度肝を抜いたスローガン「とことんまっすぐ」が、OJBらしいスローガンであったなと実感した1年間でした。節目の周年事業の年であり、震災もあった激動の1年でしたが、ブレることなく研修に全うできたのは、平野会長の強い意志を役員がくみ取ってきたからに相違ありません。

私が出来たことと言えば、比較的固く難しい平野会長の意図を、面白おかしく、飲みながら役員に補足したくらいでしょうか。そのことで会長の思いを感じ取ることができ、その重さ、苦悩を研修させていただきました。

この1年間、役員として関わらせていただいたことに心から感謝し、次の年度に継承していきたいと思えます。

第45年度監査役 吉位 栄七

一 年間役員として監査役の立ち位置を模索しながら、平野会長始め皆さんの役に少しでも立つよう参りましたが、力量不足を痛感しております。転じて、45年度の執行部・役員45周年の実行委員の皆さんは、「とことんまっすぐ」に情熱をもって行事に取り組んでいただき、若さいっぱい活躍していただきました。監査役と言う事無しでした。

一年間お世話になりました。研修になりましたし、楽しかったです。役を与えていただいた平野会長始め執行部・役員の方皆さん、大角実行委員長、実行委員の方皆さん、会員の皆様ありがとうございました。

第45年度幹事長 吉田 大助

B I U T I F U L
ある場面において運命ってというのは、絶え間なく進行方向を変える局地的な砂嵐に似ている。君はそれを避けようと足どりを変える。そうすると、嵐も君に合わせて足どりを変える。君はもう一度足どりを変える。すると嵐もまた同じように足どりを変える。何度でも何度でも、まるで夜明け前に死神と踊る不吉なダンスみたいに、それが繰り返される。その嵐はどこか遠くからやってきた無関係な「なにか」じゃないからだ。そいつはつまり、君自身のことなんだ。君の中にある「なにか」なんだ。だから君にできる事といえば、その嵐の中にまっすぐ足を踏み入れる事なんだ。その嵐は千の剃刀のように鋭く生身を切り裂くんだ。何人もの人たちがそこで血を流し、君は両手にその血を受けるだろう。それは君の血であり、ほかの人たちの血でもある。そして砂嵐が終わったとき、どうやって自分がそいつをくぐり抜けて生きのびることができたのか、君にはよく理解できないはずだ。でもひとつだけはっきりしていることがある。その嵐から出てきた後、君の人生は変わっているんだ。

ビューティフルに。 <http://biutiful/index.html>

この予告(海辺のカフカ ver) 素晴らし過ぎて、7月の終わりに鑑賞。そういう一年だったというわけではなく、この映画を鑑賞後に物凄く肯定的な気持ちになれた自分に気づいた時、与えられた役割に対して感謝が溢れたのです。

大垣青年重役会第45年度会長平野宏司会員、相当な我慢の上導いて下さいました。温かく見守りいただきました執行部の皆様、熱くご協力いただきました役員&スポット委員の皆様、大成功となりました創立45周年記念事業実行委員会の皆様、とても楽しかった旅行参加者の皆様。そしてすべてのOJB会員の皆様、本当にありがとうございます。

第45年度例会幹事 前田 大輔

ま ずもって平野会長、45年度は大変お世話になりました。有難うございました。又、45年度役員及び、45周年の役員の皆様、大変お世話になりました。そしてお疲れ様でした。今年は創立45周年記念大会も大成功し、海外研修もありとても充実した一年になりました。例会幹事としては改めて例会の大切さを知りまだまだ勉強不足で頼りない私でしたが、学べた事も多く、OJBの事をより深く知る事ができました。また各界の多くの方々からご指導ご支援を頂いて今日があるのだと、凄く実感しました。45年の長き歩みを知り、これからは道を創っていく立場で考え一年一年大垣青年重役会を大事にさせていただきます。

そして何よりも自分の中で一番響いた言葉

「とことん まっすぐ」

何事も芯をもって歩いていきたい！！

第45年度

第45年度を
振り返って

第45年度役員の皆様よりお言葉をいただきました。

第45年度広報幹事 加納 浩二

第45年度は広報幹事という役をさせていただいた。45年度は周年の記念事業もありそんな時に役をやらせていただくことで大変研修になったと思います。また、委員長や副委員長に優秀な2人をつけていただいて楽しく過ごすこともできました。

本当にありがとうございました。

第45年度会計 所 研二

平野会長をはじめ役員の皆様、会員の皆様1年間大変お世話になり感謝申し上げます。

平野会長からお話を頂いた時は、今まで副委員長1回の経験しかない私に務まるのかと不安に思ったのがつい先日の様な“あっ”という間の1年でした。会計資料を引継いだ時にはその膨大な量を目の当たりにして、これだけの資料を1年間間違い無く作成していかななくてはいけないプレッシャーも感じていました。今、振り返ってみますと何とか無事1年を終える事が出来少しは自分自身も成長出来たのではないかと考えています。1年間ありがとうございました。

第45年度例会企画委員会 委員長 川瀬 知哉

第45年度では例会企画委員長として大変多くの事を学び得ることができ、ありがとうございました。例会企画委員会は今までに無い委員会であり、またスポット担当委員の方々によるスポット担当例会の開催というのも初めてであり、当初は戸惑いもありましたが委員の方々のご協力により無事終える事ができました。講師の先生にお任せするだけでなく、こちらから様々な提案を行い、より良い例会にしようとして働きかけた点、スポット委員の方々との打合せを通じた団結力や、その中で改めて自分自身の弱点を知る事ができた事など多くの事を学ばせて頂きました。45年度役員の皆様、会員の皆様には大変お世話になり、1年間本当にありがとうございました。

第45年度例会企画委員会 副委員長 足立 貴保

今期の役員を務めさせて頂いて、正直、最初は入会したばかりでなにもわからない私が、大役を務めることが不安でしたが、皆さんにご協力頂きながら、なんとか今日までやりきることができました。本当にありがとうございました。

私にとって、役員をやらせて頂いた今期は、本当に有意義な1年間でした。

なによりも、何度も作業や打ち合わせなどを繰り返すうちに、色々と話し合えるようになり、業種は違ってもお互いに成長し合おうという仲間ができたことは、なにも代えがたい宝だと思います。これからも、みなさんと一緒に学ばせて頂きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

第45年度広報委員会 委員長 寸田 敬介

一年間広報活動を務めさせていただきありがとうございます。広報のスペシャリストである加納広報幹事のもと、ハイセンスな田端副委員長にたくさん助けていただき無事完走することができました。振り返れば皆さんとたくさんおしゃべりし、たくさん飲んだくれ、たくさん遊んだ1年間でした。封入後の打ち上げは会を重ねるごとに充実し、広報活動は終了しても楽しい打ち上げだけは今後も継続したい気分です。(笑)最終ゆかた例会では広報活動をしないうという贅沢を味わうこともできました。本当にお疲れ様でした。最後に、インタビューや感想文、写真撮影にご協力いただきました会員の皆様！1年間本当にありがとうございました！

第45年度広報委員会 副委員長 田端 隆

広報副委員長をやらせていただいた田端です。毎月コツコツやる続ける私にとって最も苦手な仕事でしたが、加納幹事や寸田委員長に助けていただき無事1年間やり遂げることができました。

役を与えていただいた平野会長ありがとうございました。

第45年度会員親睦委員会 委員長 近沢 正

記念すべき45年度、ゆかた例会をもって殆どの行事を終える事となりました。

今年度のゆかた例会の目玉である鶺鴒いが終わり、船が岸についた所で担当させていただいた46年度に向けてのエールでは、鶺鴒いの「鶺」を驚かせてやろう！との意気込みでとにかく大きい声を出しました。何事も自分なりに精一杯やる、というのは、45年度7月の役員合宿から貫けたのではないかと自負しております。

会についての知識や経験の乏しい私ですが、なんとか1年やってこられたのは、まずは会員親睦委員会の担当幹事、そして副委員長、このお二人によるところが非常に大きかったと思います。

企画段階では細かな気遣いをする事を、担当幹事から学ばせていただきました。そして懇親会や家族親睦などの当日に、なにかと至らぬ私をしっかりとフォローしてくれた副委員長には、全体を把握する事の大切さ、会員の皆様楽しんでいただく気持ちの大切さ、という事を改めて気付かせてもらいました。

執行部、役員の皆様だけでなく、歴代の会長方からも温かいご指導ご支援をいただきながらの、「とことん まっすぐ」の1年でした。

素晴らしい役員の皆様と45年度を過ごせた事は、今後の貴重な糧となるのだと確信しております。皆さん、どうもありがとうございました。

第45年度会員親睦委員会 副委員長 片桐 大介

第45年度、所会計・近沢委員長の下、会員親睦副委員長を務めさせていただきました。会員親睦として、飲んで語る会、講師を囲む会、家族親睦会、新入会員の勧誘等会員の方々のご家族の方々そして講師の先生方と、よりよい親睦を深められる様活動して参りました。一年間の活動を通しまして、なかなかスムーズな段取りができず、皆様にはご迷惑をお掛けしてばかりで私自身は毎回課題の残るものとなりました。しかし、役員の皆様や会員の皆様のアドバイスやお力添えがあり、毎回充実した活動になっていった様に感じます。この1年間、会員親睦を支えてくださいました皆様に感謝の気持ちで一杯です。

この経験を糧といたしまして、46年度からも頑張っていきたいと思っております。

第45年度

創立45周年
を振り返って

創立45周年実行委員の皆様よりお言葉をいただきました。

実行委員長 大角 勇雄

森 ～「その頃」から「今」～
鷗外が、『雁』のなかで、同時代のある数年を、「その頃」と「今」という表現で繰り返して対照させていたように、私は、5年前の創立40周年の時のことを、少しでも「今」より遠く眺めたかったのだと思います。それは、平野会長も同じであったかもしれません。

自分の思いに反して、些細なことで向かう先が左右することがあります。実行委員会のメンバーが、創立45周年の各事業を推進していくうえでもそうでした。しかし、皆、自らの行動で、OJBの未来を切り開いていきました。

「その頃」から「今」にかけて、OJBはとて大きな決断をしたと思います。そのことが、会員にとって、また、社会にとって、これからどんな影響を及ぼすか。鷗外なら、無用の憶測をせぬが好いというのでしょうか、私は、もうその時から35年を経過したと、やはり、鷗外のように史観的に言ってみたいのです。

実行副委員長 増田 典晃

創 立45周年記念大会が無事成功しました事、心よりお慶び申し上げます。

また、45年度会長及び執行部・役員の皆様、そして創立45周年記念事業実行委員会の皆様お疲れ様でした。私事ですが、創立45周年記念事業実行委員会 副委員長 として記念式典委員会のアドバイザー役を引き受けておきながら、当日の記念大会に出席出来なかった事をこの場をお借りして深くお詫び申し上げます。毎月の役員会での打ち合わせに参加し、当日迎えるのを楽しみにしておりましたが、欠席せざるを得なかった事、非常に残念で悔しくてなりませんでした。

OJB在籍日数残り一年ですが、OJBの為に少しでも恩返し出来るよう努力していきたいと考えております。

実行副委員長 日比 敏晴

3 0年度に入会した私にとって今回が4度目の周年行事であり、そして正会員として最後の周年となりました。

今回の準備委員会はおよそ2年前から事にあたり、私は記念講演会にかかわらせていただきましたが、チームに限らずたくさんの仲間とご縁をいただき、力を合わせ喜びを分かち合えたことを感謝しています。

これからのOJBをどういう風にもっていくべきか、私も一会員としてどういう一役を担っていくか、皆さんと一緒に考えてきました。自分を育ててくれたOJBが、これからもっともっと素晴らしい会に発展していくことを心から願っています。

実行副委員長 藤井 重雄

先 ずもって大会会長、大会実行委員長を始め役員の方々に感謝と敬意を申し上げます。

本年度は私自身3度目の周年年度であり、また現役としては最後になります。しかしながら大会実行副委員長として、お役に立てたかと言えば甚だ申し訳ない思いでいっぱいです。ただ立場的に全体を俯瞰して見ていましたが、確実にOJB会員のスキルが向上し記念事業の一つ一つをしっかりと練り上げていく姿に安堵も覚えました。

周年を経て当会はさらなる高みを目指します。私も少なくなったOJBの時間を有意義に過ごしていきたいと思えます。

実行副委員長 渡部 弘幸

夏 草や兵どもが夢の跡」……祭りの後の、一抹の寂しさが込み上げてきています。準備委員会の頃より、二年間 楽しかった事だけが思い出されるのは、私だけでしょうか。これも第45年度から第46年度へと移り変わっていく時期だからかもしれません。

平野会長、大角実行委員長を始め、周年の役員の方々には大変お世話になりました。ありがとうございます。また他方では、いろいろとご迷惑やご心配をお掛けし大変申し訳ありませんでした。

9月より心機一転、研修に励みます。松本第46年度会長よろしくお願い致します。

記念式典委員会 委員長 高橋 卓哉

年 度の委員長経験しかない若造の私が記念式典委員長という大役をお受けして、初めて実行委員の方と顔合わせをしたのが2年前の8月21日でした。スタート時はまだまだ先のことで、全く実感がわかなかったことを覚えています。41年度入会の為、記念大会自体経験したことがないので、全くイメージがつかめずとまどいましたが、40周年記念式典委員長の松本さんからお借りした膨大な資料とアドバイスのおかげで、いくつか改善点や問題を残しながらも、なんとか形になったのではないかと考えています。これも実行委員の皆さんをはじめ、全会員の方のご協力があったことと感謝しています。記念大会は実行委員だけではなく、会員全員が参加意識を持たないと成功はありえないと思えました。

最後に私が自分のことで精一杯のなか、完璧に仕事をこなしていただいた前田副委員長と川瀬副委員長には大変感謝しています。有難うございました。

追伸：50周年役員の方に、膨大な資料をきれいに整理して保管してあります。

第45年度

創立45周年
を振り返って

創立45周年実行委員の皆様よりお言葉をいただきました。

記念講演委員会 委員長 安田 佑次

記念講演会の委員長をさせていただき、まずは、このような大役を与えて貴重な経験をする機会をくださった平野会長、大角実行委員長、ありがとうございました。そして、アドバイザーである日比実行副委員長をはじめ、たくさんのアドバイスをしてくださった実行副委員長の方々、ありがとうございました。

記念講演会委員会として、一緒に走ってきた副委員長のお二人、本当に多くのご協力をしてくださった会員の皆様、ありがとうございました。

約二年間、記念講演会委員長として走ってきましたが、終わってみるとあっという間の二年間でした。常にさらに上を目指していく姿勢、本当に細部にまで気を配っていく事の重要性、経営者として大切なものをたくさん勉強させていただきました。そしてなにより最後まで諦めないといった、OJB魂のようなものを学びました。

創立四十五周年記念講演会をこのような役目で体験出来たこと、本当に良かったと思います。

ありがとうございました。

記念研修旅行委員会 委員長 長屋 是通

一度は創立45周年の旅行という大役を与えていただき不安と楽しみの中でスタートしました。

まずは国選びから色々な困難に当たりました。自分の訪れた事のある国はなんとなくわかりますがそれ以外の国はネットやパンフレットから情報を得ることになり、正直自分自身よくわからないのが本音でした。しかし平野会長、海外旅行豊富(?)な土屋副委員長、情報を敏速に集め作成していただく近沢副委員長に恵まれ、フィンランドというすばらしい国が決まりました。また自分自身今回の委員長を期に以前より海外に興味を持って実際何カ国も訪れさまざまな文化や考え方を学ぶ事ができました。今回の機会をさせていただきありがとうございました。

記念誌委員会 委員長 川瀬 由香

記念紙完成の瞬間、長い間、大切に育ててきた花が満開の花を咲かせてくれた!という思いでした。2年という長い時間の中、幾度も枯れかけた時がありました。そんな時にもいつもしっかりと水を挿し育て続けてくれた副委員長に感謝!!

陽射しを射し続けてくださったアドバイザーに感謝!ご協力いただいた全会員の皆様に感謝!編集するにあたり、普段は接することの出来ない諸先輩方とお話できた事に感謝!

全会員の皆様ともお話できた事にも感謝!OJBのルーツをより深く知り、会の素晴らしさを引き継ぐ大切さを感じる事ができたことに感謝!

会員の皆様に、この記念誌が永く愛されていく事を願っています。

ありがとうございました。

CI担当委員会 委員長 浅野 信哉

CI担当委員会、初めて聞く言葉に言葉は出ず頭まっしろ。調べてみると「CI」とは Corporate Identity. まったく聞きなれない言葉に戸惑いながら、吉位会員、加納会員とともに活動させていただきました。創立40周年の際に、年度の役員としてたまたまお二人ともご一緒させていただきましたが、前回以上に助けていただき多くの研修をさせていただきました。波が立つ騒がしい状況でも冷静で的確、常に角度を変えて意見をおっしゃる吉位会員。物事の先を読み、あらゆるツールを利用し情報収集、言葉一つの重みを重視する加納会員。その他多くの方々にお世話になり助けていただいた周年役員でした。足を引っ張りながらも45周年記念事業実行委員会一員として無事45周年を迎えられたことに感謝しています。皆様ありがとうございました。

総務・財務委員会 委員長 井納 宏自

45周年実行委員会の総務財務の委員長を経験させて頂き、本当に勉強になりました、私は40周年の時は平野直前会長が委員長で私が副委員長でした、45周年では平野直前会長の下で委員長をやらせて頂きました。

本当に色々な事を教えて頂きながら45周年の実行委員をさせて頂き感謝ばかりです。

準備委員会からですと実に2年、長いようで短い2年だと思えるのは私だけでは無い気がします、各委員の皆様本当にお疲れさまでした。

次は50周年に向けて大垣青年重役会を皆で盛り上げて行きましょう!

長期計画委員会 委員長 寺倉 毅

今、今期を振り返ると平野会長から長期計画委員長を頼まれた時はなにをやるのか想像もできない状態でしたが平野会長、大角実行委員長とお話しながらその中から想いをお聞きし「法人格の取得」を目標にし委員会活動を進めてきました、お酒を飲みながらの定款の見直しは楽しい思い出、そして勉強になりました。今から思うと、自分で探し実行し成し遂げる事の大切さを教えられた気がします。最後に副委員長の松本会員・佐竹会員はとても優秀で、後押し手助けをして頂きありがとうございましたそして、大角実行委員長と羽田アドバイザーありがとうございました。



ありがとうございました。

Special Interview

46th

第46年度スローガン

しぎょう
公の心を持ち、私業の本分を尽くそう！

8月もあとわずかととなり、いよいよ9月よりスタートする、第46年度に向けて、松本新会長にインタビューさせていただきました。今の心境や、スローガンに込めた“おもい”についてお話を伺いました。

聞き手：広報副委員長 小川智宏

場所：大垣フォーラムホテル

Q1 いよいよ第46年度がはじまります。今の心境をお聞かせ下さい。

A1 ほんとにいよいよ、って所ですね。会長を引き継ぐことで、歴代の会長の方々の考えや思いがひしひしと伝わってきました。副会長としての一年間、会長を見させて頂いて、本当に強く感じました。ただ、自信があるのは、今年の役員は執行部を含め非常に良いメンバーがそろったと思っています。この理想的なメンバーと一緒にあればうまくやりぬく事が出来る。そんな自信はあります。

Q2 前年度が45周年という大きな節目の年でした。今年度はその直後の年という事もあり、何かと比較される事も多いと思いますが・

A2 そうなんですよね。45周年はほんとに節目の年だったので、もしかしたらみなさんやりきっちゃった感じかなあと、という思いがあります。そこからの始まりなので・・・、という不安はあります。もう一つ、第45年度の会長が平野会長でしたので、どうしても平野会長の優秀さにはとてもじゃないけどかなわないと思っています。でもその足りない部分をさっきも言いましたように役員メンバーでフォローして欲しいと思っています。逆に言えば、平野会長が直前会長としていらっしゃると言う事は、こんな心強いことはないと思っています。しっかりアドバイスを頂いて、乗り切っていこうと思っています。

Q3 第46年度のスローガン「公の心を持ち、私業の本分を尽くそう！」私業(しぎょう)という言葉は聞きなれない言葉ですが、ご説明いただけますか？また、スローガンにかけた“おもい”もお聞かせ下さい。

A3 スローガンは、当然会長を認証された時から考えてもいましたが、少し前から「公」という言葉は決めてたんです。私の思いとしては、重役会や、もちろん私たちの企業の基盤にあるものって、自分達の企業だけが勝ち残るって言うのは少し違うと思うんですよね。インフラというか、その場所があって、みなさん、もちろんお客様もどこかにお勤めで収入を得ているのですから、一つの企業だけが繁栄というのは考えられないです。だから、「公」という一文字は僕の生き方の中で、重きを置いている言葉です。

そして、「公」と対照することばが「私」って言葉です。もちろん自分の企業って事なんですけど、私の企業、「私業」ってことにさせてもらっています。そしてスローガンに懸ける「おもい」は、大垣商業高校の言葉にもありますが、「士魂商才」なんですよね。我々経営者はもちろん商売人であるのですけれども、サムライの魂をもつ、公の為に、つまり社会をよくする為に企業というのがある。そういう思いを持っている企業の方がお客さんから信頼を得られる、と思うんです。そして僕らの企業が大垣を作っていく、地域の経済を活性化させていく。そういう場所って言うのは実は先輩達がもう作りあげてきているんですよね。大垣って言う街は、大正期に始まっているのですけども、例えば、大垣を引っ張っている企業の一つであるイビデン(株)。歴史を紐解いていくと、その頃の商工会議所的なものがあったのですが、戸田鋭之助さんや有志が力を合わせて、大垣に企業を誘致するためにまずは揖斐川の水力を生かした電気を作ろう、そういう会社が必要なんじゃないか？と。そういう経緯でみんなが力を合わせて作った会社がイビデン(株)なんです。そういう風で大垣って言うのは、企業の方がインフラを整備してくれてたんですよ。そういう恵まれた場所に立って、会社をやらせてもらっているんですよ。それ(その精神)を我々は引き継いでいかなければいけないんですよ。我々の企業はそういう恵まれた土地にあるということ。そして、この恵まれた大垣をまたさらに育むために、貢献するということ、その辺がこのスローガンに懸けるおもいですね。

Q4 定款作成も終わり、法人化に向けていよいよ現実味が出てきました。法人化への“おもい”をぜひお聞かせ下さい。

A4 奇しくも、前年度長期計画委員会の副委員長も兼任させていただきました。ほんとに寺倉委員長が必死になって、定款を作ってくださいました。そして舵を切った第45年度平野会長、バックアップした大角実行委員長。そういう人の熱い思いがないとここまでとどり着けなかったと思います。法人化っていうのは、僕の「公」って所にも重なってくるんですけども、重役会って言うのは、誰が見てもこういう組織って言えるわけなんです。それが法人化なんです。今までは、会長の思いの私的な会(もちろん研修の)、その思いが担保される事になるんですよ。そして担保される代わりに、みなさんに大垣青年重役会は研修の会だということを明確に伝える必要があるんですよ。それが法人化なんです。また研修の面でも、法人化によって、公に大垣市に認められた会なので、より良い講師の先生や、より良い研修先が見つかるはずですよ。言ってみれば新しい扉を開いた！って感じになると思います。

Q5 最後に会員の皆様に向けて、メッセージをお願い致します。

A5 第46年度は「公の心を持ち、私業の本分を尽くそう！」というスローガンで一年やっていきます。会員みなさんの会社が社会に貢献できているかどうか再確認できる一年になると思うんですよ。で、我々は研修の会なので、研修の会のプロとして、本当に一年間学んで、重役会に所属して本当に良かったって思う一年にしますので、どうぞ、例会や委員会活動に是非来て下さい。

ありがとうございました

ActivityReport

活 動 報 告

新旧役員引継会

- ◎とき・・・7月27日(水)18:30～21:00
- ◎ところ・・・大垣フォーラムホテル
- ◎出席者・・・28名



次年度への事業報告や反省点、良い研修になった一年間、そして今から研修する一年間へのヒントを頂きました。

特別会員OJB四季の会 7月例会

- ◎とき・・・7月27日 18:30～21:00
- ◎ところ・・・駅前にしき
- ◎出席者・・・20名



卒業しても研修です!

第10回全国高校生ポスターコンクール



写真はテープカットの様子。記念すべき第10回!

Information

お し ら せ

委 員 会 活 動

●第1回飲んで語る会(会員親睦委員会)

- とき・・・9月9日(金)例会終了後
- ところ・・・ラウンジ 園
- 大垣市郭町東1-67INDEXビル5F
- TEL 0584-81-0338

会費・・・3,500円

●合同委員会

- とき・・・9月14日(水)19:00～
- ところ・・・玉子屋別館 玉辰楼
- 大垣市新田町2-95
- (※バス利用者 東外側駐車場 18:20集合)
- TEL 0584-89-3223

会費・・・5,000円

●合同委員会2次会(会員親睦委員会)

- とき・・・9月14日(水)21:30～
- ところ・・・タンバリン
- 大垣市東外側町1丁目23-D
- TEL 0584-75-5544

会費・・・3,500円

●ニューメンバースクール(会員親睦委員会)

- とき・・・9月28日(水)19:00～
- ところ・・・寿司会席たつみ
- 大垣市室村町1-125
- (※バス利用者 東外側駐車場 18:20集合)
- TEL 0584-78-9424

会費・・・5,000円

●ニューメンバースクール2次会(会員親睦委員会)

- とき・・・9月28日(水)21:30～
- ところ・・・奏音(カノ)
- 大垣市高屋町4丁目48-1
- TEL 0584-81-1317

会費・・・3,500円

ド ネ ー シ ョ ン

●会員親睦委員会

家族親睦、多数のご参加のおかげで成功する事ができました。

●スポット例会委員

(原田幸子 会員、栗田英優 会員)
皆様のご協力により、無事にスポット例会を終える事ができました。ありがとうございました。

●松本正平 会員

引継会終了して気が引き締まる思いです。
これから1年間よろしくお願いします。

●創立45周年実行委員・第45年度役員一同

おかげ様で、1年間とどこおりなく終える事ができました。ありがとうございました。

●平野宏司 会員

父の叙勲にあたり皆様よりお祝いをいただきました。ありがとうございました。

H A P P Y B I R T H D A Y

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 加納浩二会員 | 8月30日 | 溝口武嗣会員 | 9月7日 |
| 小川真人会員 | 9月10日 | 田口明会員 | 9月12日 |
| 鳥居清会員 | 9月14日 | 小倉秀樹会員 | 9月14日 |
| 羽田義慎人会員 | 9月15日 | 寸田敬介会員 | 9月18日 |
- ～おめでとうございます～

◎第46年度会費納入のお願い◎

- 会費納入額 (上期)・・・35,000円
- (通期)・・・70,000円
- 納入期限・・・平成23年9月30日(金)